

平成25年度

**真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会**

平成26年3月

I. 平成25年度の各機関の取り組み状況

	 森林	 水	 交流	
1. 森と湖に親しむ旬間行事	森林	水	交流	1
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり	森林		交流	8
3. 第6回もりみずカップ少年サッカー大会			交流	11
4. 『水源地の森づくり』第8回植樹会	森林		交流	12
5. 越前おおのエコフィールド	森林		交流	14
6. 越前おおの湧水文化再生計画		水		16
7. NPO法人九頭竜自然楽校	森林	水	交流	18
8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ		水	交流	19
9. 真名川ダム弾力的管理		水		21
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み		水		26
11. 流木の有効活用	森林		交流	29
12. ダム湖周辺の紅葉情報提供			交流	30
13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携			交流	32
14. 真名川ダムのダム内部見学			交流	34
15. ダムツーリズム（九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー）		水	交流	36
16. 九頭竜ダム展示室			交流	37
17. ノーム自然環境教育事務所	森林	水	交流	39
18. カヌーを使った水辺の安全教室		水	交流	42

II. 平成26年度の活動について

【参考資料】 48

水源地域活性化のための活動



1. 森と湖に親しむ旬間行事



概要

- 【目的】 地域のみなさんが森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくこと。
- 【実施内容】 真名川ダム見学会（平成25年7月27日（土））
福井県が管理する2ダム（笹生川ダム、浄土寺川ダム）の見学・説明会（平成25年7月27日（土））
九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成24年7月28日（日））
- 【主催】 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
- 【構成機関】 福井森林管理署 / 福井県 / 大野市 / 電源開発（株） / 北陸電力（株） / 関西電力（株） / 九頭竜川ダム統合管理事務所
- 【関連行事】 第6回もりみずカップ少年サッカー大会（平成25年7月6日（土）、7日（日））
- 【事前PR】 県内を対象に新聞広告で事前PRを実施

7/27日・28日は、ダムまるごと見学会
ダムの圧倒的スケールを体験しよう!

27日(土) 10:00~16:00 真名川ダム体験!

【見学・体験】 夏でもひんやり内部通路 / 紙飛行機とばし / 大噴水 / 結構高い! ギャラリー / 小枝工作 / 各種パネル展示など。
【プレゼント】 ダムに流れ着いた流木
流木などから作ったおが粉、堆肥

28日(日) 10:00~16:00 九頭竜ダム体験!

【見学・体験】 冬季連絡通路から128mのロックフィルダムを体験 / 1日水上巡視体験 / 災害対策車の展示・衛星通信車の展示と衛星通信の実演 / 簡単な流木工作教室 / 各種パネル展示など。【長野発電所見学】 県内の水力発電で最大の地下発電所(電源開発)
【プレゼント】 ダムに流れ着いた流木
※再日ともプレゼントは、なくなり次第終了になります。

詳しくは、**九頭竜川ダム 事務所** 検索

7月21日~31日は、「森と湖に親しむ旬間」です。

国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所
TEL.0779-66-5300

同時開催
27日(土) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会
(会場) 浄土寺川ダム(御山市) (問合せ先) 福井県土木部砂防防災課
笹生川ダム(大野市) TEL.0776-20-0482

各行事は、気象条件などにより変更または中止になる場合がございます。

27日(土) 28日(日) ダムのスケールを体感!
真名川ダム・九頭竜ダムのダム見学会を開催

九頭竜ダム (ロックフィルダム、高さ:128m) 総貯留容量が最大!ダムです。

真名川ダム (アークダム、高さ:127.5m) 沢山の貯留容量が特徴!ダムです。

~7月21日~31日は、森と湖に親しむ旬間です~
森と湖に親しむ旬間

主催: 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発、北陸電力、関西電力

※各行事は、気象条件などにより変更または中止になる場合がございます。
(問合せ先) 国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 TEL.0779-66-5300 (F)

27日(土) 10:00~16:00 真名川ダム

●真名川ダム 堤体内見学会
夏でもひんやりしたダム内部の通路、溜力高のギャラリーを案内します。ダム湖の水圧を利用した大噴水を近くで見ることが出来ます。(最終受付15:00)

●美しい森づくりを目指して 展示と森のマスコット作り (福井森林管理署)
国有林の森林保全の取り組みを紹介、小枝を使った工作「モックン」作りもあるよ。

●福井の森とダムについて学ぼう (福井県砂防防災課・森づくり課)
県内のダムや森の保全について、パネルで紹介いたします。

●ダムマニア ~ダムの魅力を語る~

●再生可能エネルギーについて 考えてみよう (北陸電力)
再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みや環境保全活動などについてパネルで紹介いたします。

●紙飛行機とばし
ダム堤防から紙飛行機(水筒紙を使用)をとばします。(最終受付15:30)

●麻那姫湖の流木プレゼント
真名川ダムに流れ着いた、自然が作り出すアートな流木。お庭や装飾用に、お持ち帰りください。 ※なくなり次第終了

●流木を有効利用したおが粉をプレゼント
真名川ダムの流木からおが粉を作りました。ご自由にお持ち帰りください。(堆肥の代用として活用される方に人気) ※なくなり次第終了

同時開催
27日(土) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会
(会場) 浄土寺川ダム(御山市) (問合せ先) 福井県土木部砂防防災課 TEL.0776-20-0482

28日(日) 10:00~16:00 九頭竜ダム

●九頭竜ダム 冬季連絡道見学会
普段は入ることができない連絡通路などを案内。高さ128mのダムのスケールを体感できます。(最終受付15:30)

●長野発電所見学会 (電源開発)
地下に隠れている発電所の大きさにびっくり! 県内の水力発電所で最大の地下発電所を見学してみよう。(最終受付16:00)

●九頭竜湖の流木プレゼント
九頭竜ダムに流れ着いた、自然が作り出すアートな流木。お庭や装飾用にどうぞ。 ※なくなり次第終了

●森はくくも湧水文化を学ぼう (大野市)
湧水文化再生に繋がる大野市の取り組みを紹介。越前美濃湖遊覧船自給体の観光紹介

●ダムマニア ~ダムの魅力を語る~

●流木でアート、工作教室
さまざまな形の流木を使って、簡単な工作にチャレンジ。

●1日水上巡視体験

●災害対策車・衛星通信車の展示と衛星通信の実演
災害の現場で活躍する車両を見学できます。Ku-SAT(衛星小型衛星伝送装置)を使用した衛星通信の実演を行います。

同時開催
28日(日) 11:00~16:00 福井県が管理するダムの見学・説明会
(会場) 笹生川ダム(大野市) 浄土寺川ダム(御山市)

真名川ダム見学会

※赤枠は平成25年度に新規実施

【開催日】平成25年7月27日(土)

【来場者】約200人

【参加機関】福井森林管理署 / 福井県 / 北陸電力(株) / ダムマニア / 九頭竜川ダム統合管理事務所



■真名川ダム会場



■ダムの大さを体感



■アーチ式ダムを体感



■管理用通路見学



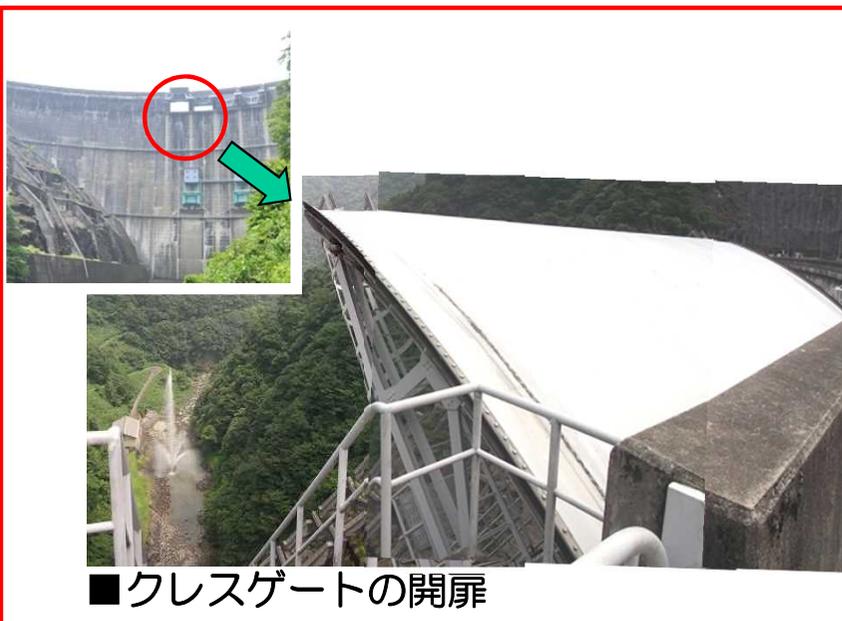
■管理用発電設備見学



■噴水設備見学



■コンジットゲート設備
見学



■クレスゲートの開扉



■紙飛行機飛ばし(水溶紙)



■ダム見学記念写真撮影



■流木工作教室

真名川ダム見学会



■パネル展示(福井森林管理署)
国有林の森林保全の取り組み



■パネル展示(福井県)
県が管理するダムや森林の保全



■パネル展示(北陸電力)
環境保全活動



■パネル展示
(九頭竜川ダム統合管理事務所)



■流木プレゼント



■堆肥・おが粉プレゼント



■ダムマニア～ダムの魅力を語る～
プレゼンテーション、写真の展示



■NHK福井放送で放送されたダム見学会の様子



大野のダムなど
近畿地方整備局と興、
電源開発は幸と湖に親し
七周年(7月20、21日)
にちなみ28日県内四
つのダムと水力発電所を
見学を兼ねた親子遊楽
らが善処は入れない内部
を見て回り、海股のスケ
ールを身近に体感した。
28日は大野市の九頭竜
ダムと長野発電所で開
催。発電所では約200
名の観入道路を下り、
地下にある発電設備を鑑
賞が案内した。
直径100以上の水車を受
けて回る回転の目撃も入
などに、子どもも大人も
興味津々、家族で訪れた
大野市の石田大智君(9)が、ポ
ートでダム湖を、見学会が開
かれた。

川下小1年1組は「水でトロール水車視
電気をつくるとは知らなかった。曲がりくね
って流木が大きな、なぐり、機がア
びくびくした。中は涼しい、中
は涼しい、中を呼んで、
27日は真名川ダムと浄
生川ダム(天守市)、浄
土寺川ダム(勝山市)で
見学会が開かれた。

九頭竜ダムの長野発電所で開かれた見学会
＝大野市長野

■ダム見学会 新聞報道記事
福井新聞
平成25年7月30日(火) 朝刊

笹生川ダム・浄土寺川ダム見学会

【開催日】平成25年7月27日(土) 【来場者】31名

【開催ダム】笹生川ダム(大野市)、浄土寺川ダム(勝山市)

【実施内容】ダム見学会では、ダムコンピュータシステムなどの見学、ダムの構造などの説明を行った。



■笹生川ダムの見学・説明会-1



■笹生川ダムの見学・説明会-2



■笹生川ダムの見学・説明会-3



■浄土寺川ダムの見学・説明会-1



■浄土寺川ダムの見学・説明会-2



■浄土寺川ダムの見学・説明会-3

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

※赤枠は平成25年度に新規実施

【開催日】平成25年7月28日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場:約450人 長野発電所会場:約400人

【参加機関】大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／ダムマニア／九頭竜川ダム統合管理事務所



■九頭竜ダム会場



■長野発電所会場

■九頭竜ダム会場



■水上視察体験-1



■水上視察体験-2

■長野発電所会場



■受付の盛況ぶり



■模型実験の実演の様子



■堤体上見学



■災害対策車展示



■衛星通信の実演



■地下発電所見学-1



■地下発電所見学-2

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

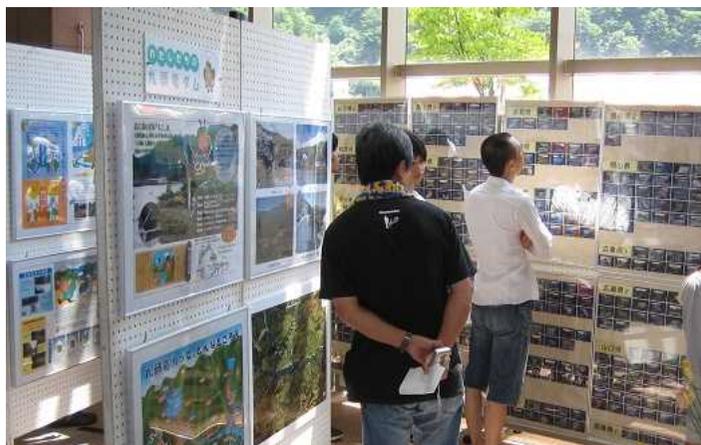
- ・大野市により、湧水文化再生に関する取り組み及び越前美濃街道沿線自治体の観光紹介を行った。
- ・九頭竜川ダム統合管理事務所により、九頭竜ダムの概要と役割、水源地域ビジョンの概要と取り組み、平成23年9月台風12号被災における国土交通省の対応などを紹介した。
- ・この他、ダム湖に流れついた様々な形の流木を無料配布し、また地元業者さんの協力による流木を利用した工作教室も好評であった。



■パネル展示 大野市観光振興課



■流木の無料配布



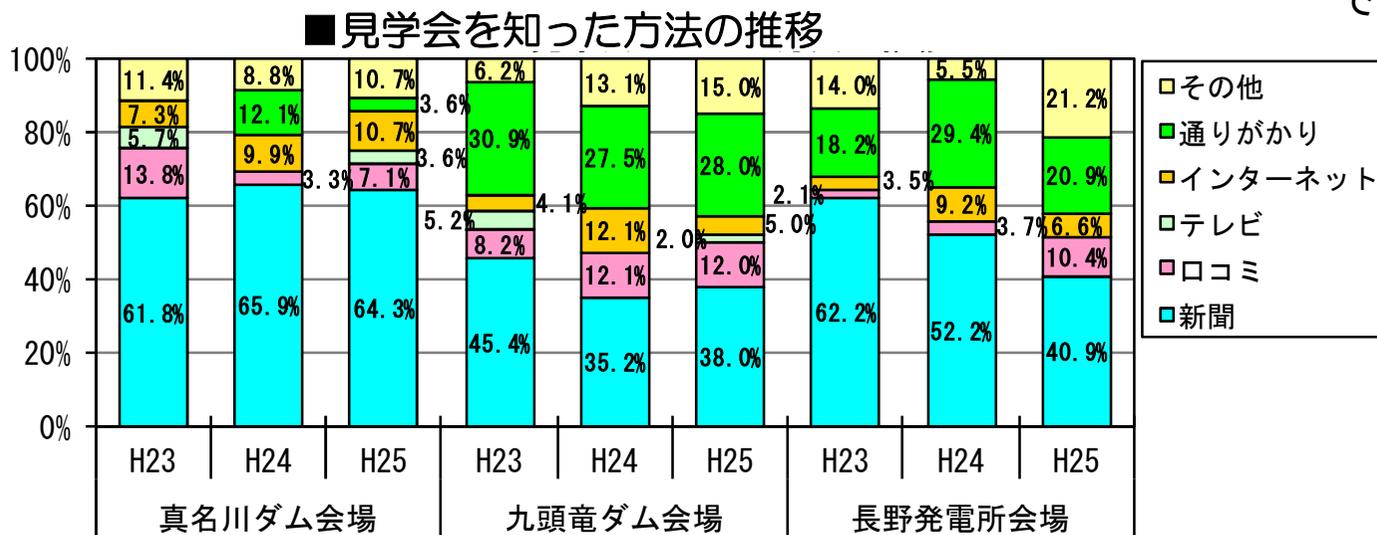
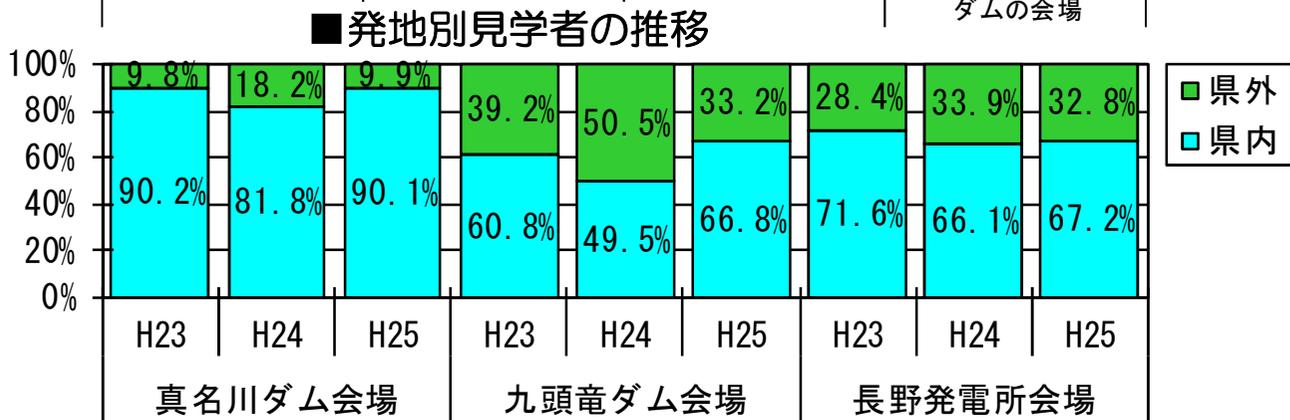
■パネル展示 九頭竜川ダム統合管理事務所



■地元業者さんの協力による
流木を利用した工作教室

アンケート結果

旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。



■ アンケート結果

● 真名川ダム会場

通りがかりの見学者は少なく、県内の見学者の占める割合が非常に多かった。来場者のほとんどは、新聞により見学会開催の情報を入手している。

● 九頭竜ダム会場

県境の主要道沿いという立地的な条件もあり、通りがかりでの見学者の割合が多い。立地的な条件が、広く一般の方にダムを知っていただく効果をあげている。

● 長野発電所会場

日頃から一般の方のエネルギー供給に対する関心の高さや九頭竜ダム会場とのシャトルバス運行等の効果もあり、見学者は昨年比20%増となった。発地別では、3ヶ年とも県外客が約30%である。

■ 総括

「森と湖の旬間イベント」として、奥越には森の中で自然環境教育活動が可能な施設や団体など、森に親しめるイベントを運営するための物的・人的資源が整っている。

今後は、水源地域ビジョン関連団体との連携を強化し、運営上の課題を解消しながら、より多くの方に森林やダム、河川等の重要性について関心を高め、理解を深めていただく取り組みを継続して実施したい。

2.九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、交流人口の増加と地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

【主催】 大野市/九頭竜まつり実行委員会

【共催】 (社)大野市観光協会/福井新聞社

【後援】 (社)福井県観光連盟/
JR西日本福井地域鉄道部/
NHK福井放送局/
FBC福井放送/
福井テレビ/
FM福井

【会場】 九頭竜国民休養地
(大野市角野)



↑ 越美北線に乗って紅葉まつりへ行こう!!

↑ 第34回紅葉まつりポスター

← 第27回新緑まつりポスター

第27回九頭竜新緑まつり

【日 時】平成25年5月18日(土)・19日(日)

【内 容】新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナー、化石発掘体験、流木チェーンソーアート、トロッコ列車乗車体験、九頭竜自然楽校の流木アート教室、流木無料配布、木工教室、カヌー操舵体験 など

【来場者数】約27,500人



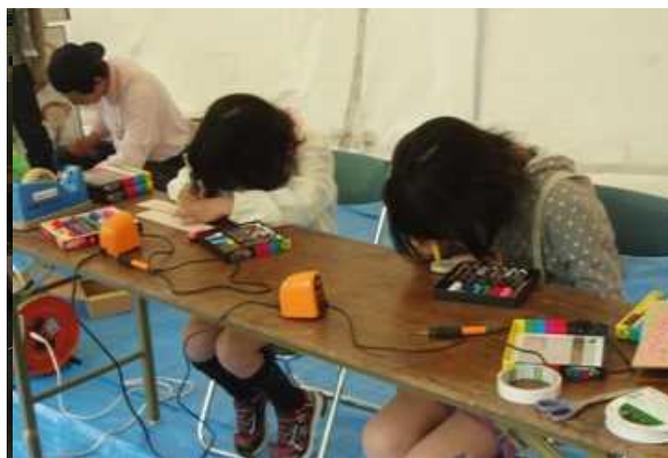
■新緑ステージ



■新緑市場



■化石発掘体験



■木工教室
(福井県奥越農林総合事務所)



■流木チェーンソーアート
(NPO法人九頭竜自然楽校)



■トロッコ列車乗車体験



■ダムに関するパネル展
(九頭竜川ダム統合管理事務所)

第34回九頭竜紅葉まつり

【日 時】平成25年10月26日(土)・27日(日)

【内 容】紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、流木無料配布、
くらしの情報コーナー、トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験、
越前美濃街道広域観光交流推進協議会PR、流木アート教室、
イワナ釣り体験 など

【来場者数】約38,000人

※赤枠は平成25年度に新規実施



■紅葉ステージ



■友好交流都市PRステージ



■トッコロ列車乗車体験



■木工教室
(福井県奥越農林総合事務所)



■台風18号やダム治水効果の
パネル展示
(九頭竜川ダム統合管理事務所)



■イワナ釣り体験

■流木アート教室
(NPO法人九頭竜自然楽校)



■流木(薪)の無料配布
(九頭竜川ダム統合管理事務所)

3.第6回もりみずカップ少年サッカー大会

概要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。

【開催日】平成25年7月6日(土)・7日(日)

【会場】奥越ふれあい公園陸上競技場

【主催】もりみずカップ実行委員会/
フェンテ大野フットボールクラブ

【協賛】九頭竜川ダム統合管理事務所/大野市

【後援】福井新聞社/越前おおの農林楽舎

参加チーム

○岐阜県郡上市

白鳥サッカースポーツ少年団

○坂井市

三国ジュニアサッカークラブ/
春江町サッカースポーツ少年団
(準優勝)

○福井市

森田サッカースポーツ少年団

○永平寺町

松岡サッカースポーツ少年団/
永平寺サッカースポーツ少年団

○勝山市

ヴィフ勝山サッカースポーツ少年団

○大野市

フェンテ奥越FC/フェンテ大野FCスポーツ少年団/
FCおおのスポーツ少年団(優勝)/ 有終南サッカースポーツ少年団/
和泉サッカークラブ



■九頭竜川ダム統合管理事務所長の祝辞



■試合の様様

4.『水源地の森づくり』第8回植樹会



概要

森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの意識向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年行っている。

植樹用の広葉樹の苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員がドングリから育てたものを使い、平成25年度はコナラなどの苗木約300本の植樹を行った。

なお今年の植樹では苗木の育成を促進するために、ダム湖の流木から作った堆肥を根元に、また防草のために、流木のチップを周辺に施した。

この取り組みはNPOドラゴンリバー交流会と真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会が連携して行っている。

【開催日】平成25年11月10日(日)

【会場】真名川ダム上流の笹生川沿い

【主催】真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

【参加者】NPOドラゴンリバー交流会、

大野市教育委員会、

大野市青年会議所、

近畿中国森林管理局福井森林管理署、

九頭竜森林組合、

電源開発(株)、

福井県奥越農林総合事務所、

福井県奥越土木事務所、

北陸電力(株)、

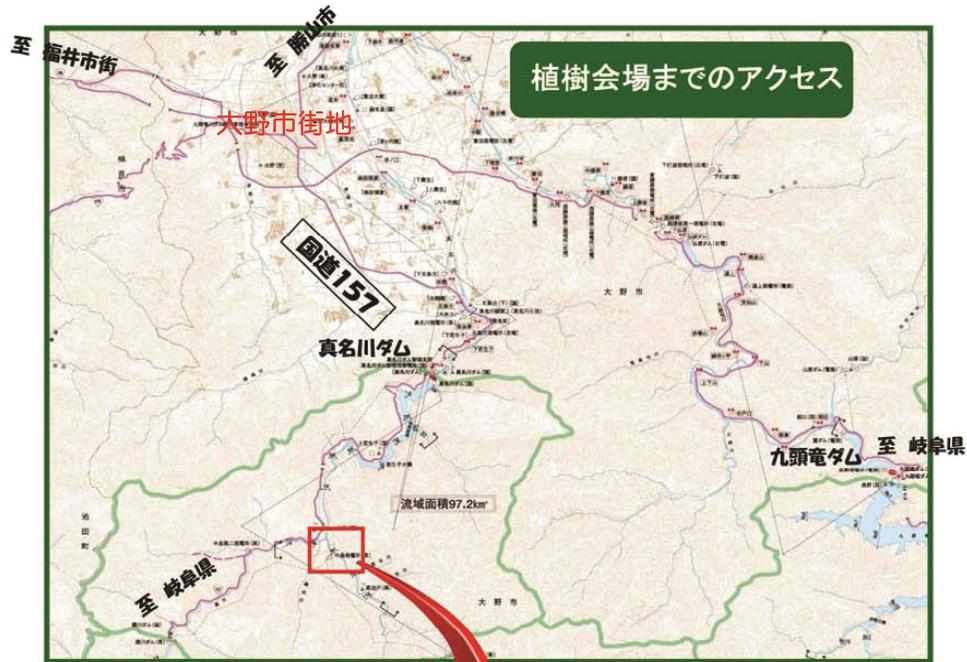
大野市、

九頭竜川ダム統合管理事務所ほか 計14団体、57名



■植樹会の参加者

植樹会の様子



■ 植樹の様子-1



■ 植樹の様子-2



所要時間: 大野市街地から会場まで車で約40分

■ 植樹会会場位置図

5.越前おおのエコフィールド



概要

【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林（もり）づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】福井営林署跡地（エコフィールド）においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等(28団体)

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/(株)福井新聞社/福井放送(株)/
北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/大野鉄工金属協同組合/
大野市消防団/越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)/(株)タニコーテック/越前大野駅/
大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/大野商工会議所/
森永乳業(株)北陸支店福井営業所/J-POWERグループ九頭竜/
福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/
九頭竜川ダム統合管理事務所/大野青年会議所/
福井県奥越農林総合事務所/福井県奥越土木事務所/
大野市教育委員会/大野市/一般財団法人越前おおの農林楽舎



活動状況

【ドングリの森づくり】

下草刈り&補植作業

日付：平成25年7月6日(土)

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約30人



■下草刈り(平家平)



■補植作業(平家平)



ドングリ拾い&ドングリの種まき

日付：平成25年10月14日(月)

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約220人



■ドングリ拾い(秋生地区)



■ドングリの種まき(エコフィールド)



■ドングリの越冬作業(エコフィールド)



6.越前おおの湧水文化再生計画

概要

古くからある湧水の再生や本市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進めるため、平成23年度に「越前おおの湧水文化再生計画」を策定。計画に基づき、平成25年度の各施策に取り組む。

大野市湧水文化再生推進連絡協議会

各施策の推進状況の報告や協議などを行い、関係機関や団体の連携強化を図る。

・(第4回)平成25年8月29日開催

・(第5回)平成26年2月12日開催

参加機関・団体

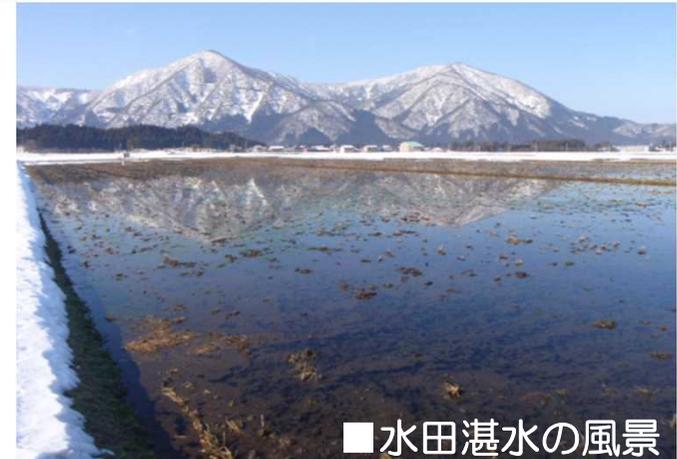
岐阜経済大学 森教授／京都大学 角教授／国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所／北陸農政局／福井県安全環境部・農林水産部・土木部・奥越農林総合事務所・奥越土木事務所／区長連合会／地下水対策審議会／真名川土地改良区連合／北陸電力(株)／大野市

水田湛水事業(ふゆみずたんぼ)の拡大

【面積】 29.8ha(H24年 28ha)

【期間】 平成25年10月1日～
平成26年2月28日(5か月間)

【場所】 木本原地区(阿難祖地頭方 他地係)



■水田湛水の風景

地下水の水位観測・啓発など

※赤枠は平成25年度に新規実施

【モニタリング】

地下水位観測 27か所30井戸
湧水量観測 中野清水 湧出量3,100ℓ/分
義景清水 湧出量 300ℓ/分
地下水質検査 6月12日・13日検査 42か所

【啓 発】

紅葉まつりなどの各種イベントへの出展
市報やチラシによる地下水・節水の啓発
越前おおの名水出前講座の開催
越前おおの環境塾「川の生き物を探そう！」の開催

【注意報・警報】

地下水位低下時に地下水注意報・警報を発令

平成25年度は発令なし

【地下水保全基金】

市民などからの寄附金を積み立て、地下水保全対策に活用

平成25年度越前おおのエコフィールド事業に活用



■春日公園観測井表示板



■名水出前講座の風景



■環境塾の風景

活動概要

NPO法人九頭竜自然楽校は、以下の三つのミッションを掲げて活動している。

- ・親子で楽しむ自然体験活動サポート
- ・アクティブシニア層の充実したセカンドライフづくりサポート
- ・地元観光情報の発信と交流促進。

九頭竜新緑・紅葉まつり

九頭竜新緑・紅葉まつりなどで流木アート教室を開催。



■流木アート教室
「九頭竜新緑まつり」



■流木アート作品
「九頭竜新緑まつり」



■流木アート教室
「九頭竜紅葉まつり」



カヌーを使った水辺の安全教室

カヌー教室（「森と湖に親しむ旬間」行事）、カヌー操舵体験（九頭竜新緑まつり）など、カヌーを使った水辺の安全教室で指導を実施。



■カナディアンカヌー・ドラゴンカヌー教室
「森と湖に親しむ旬間」行事



■カヌー操舵体験
「九頭竜新緑まつり」

8.真名川水辺の楽校バイオフレンズ

概要

子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的に行い、目標とする生態系を目指している。

【場 所】大野市南新在家の河川敷

【管理運営】真名川水辺の楽校バイオフレンズ



■真名川水辺の楽校施設平面図
(画像はパンフレット2009年度版より)

【平成25年度 バイオフレンズの活動内容】

活動項目	実施日	活動内容	備考	会員人数
普及・啓発活動	5月23日	あずまや展示変更		1名
	6月21日	有終東小学校 総合的な学習の時間出張	小人43名 大人2	1名
	6月24日	下庄小学校 総合的な学習の時間	小人70名 大人3名	2名
	7月1日	下庄小学校 総合的な学習の時間出張	小人70名 大人3名	1名
	7月28日	大野カントリースクール (オアシス協会主催)受け入れ	小人7名 大人4名	2名
	各体験前	現地下見と 危険・注意個所の抽出・図化	体験日に 情報共有化	延2名
維持管理活動	4月6日、12月27日	あずまやの雪囲いはずし 及び雪囲い作業		延べ 4名
	7月26日、11月6日	草刈	堤防、 あずまや、 施設内	延べ 4名
	5月23日、6月15日、11月6日	清掃作業	堤防、 あずまや、 施設内	延べ 3名
	5月23日	あずまや修繕		2名
モニタリング調査	5月23日、6月15日、7月26日	陸上昆虫調査	ネッティング スウィーピング	延べ 3名
	夏季・冬季	鳥類調査	ルートセンサス	延べ 2名
	11月8日	水生生物調査	定性調査のみ	1名

普及・啓発活動



■カントリースクール総合的な学習の時間の受け入れ：有終東小学校)

維持管理作業



■あずまやの清掃



■堤防の草刈り



■観察デッキ整備



■雪囲い作業

モニタリング作業



■陸上昆虫モニタリング調査



■水生生物モニタリング調査





9.真名川ダム弾力的管理

概要

真名川ダム弾力的管理として、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して放流試験を平成15年度より実施している。
 実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導をいただいている。

これまでの実施状況と今後の予定

	実施時期	実施日	ダム放流量のピーク流量	置土			自然再生試験	
				置土量	材料	場所		
試験	これまでの実績	夏期	H15.9.30	25m ³ /s	—	—	—	
		秋期	H16.11.15	45m ³ /s	約220m ³	貯水池上流の堆積土	八千代橋上流 約0.5km(左岸)	—
		夏期	H17.8.2	25m ³ /s	—	—	—	—
		秋期	H17.12.8	40m ³ /s	約200m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約0.6km(左岸)	—
		秋期	H18.11.15	45m ³ /s	約200m ³	貯水池上流の堆積土	君ヶ代橋上流 約0.8km(左岸)	—
		秋期	H19.11.8	45m ³ /s	約330m ³ +約650m ³	貯水池上流の堆積土+河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	新水路の創出
		秋期	H20.11.18	45m ³ /s	約100m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	旧河道の再生
		春期	H22.4.14	70m ³ /s	約140m ³	河川敷の掘削土	八千代橋上流 約1.5km(左岸)	ワンド(緩流域)の創造
	自然出水再現放流	春期	H23.4下旬~ H23.5	136m ³ /s	約280m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	エコトーンの創造
		秋季	H23.9.21	365m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
		春期	H24.4	50m ³ /sにカットして放流	約360m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		秋季	H24.9.18	230m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
		春季	H25.4	最大約30m ³ /s放流 (融雪出水)	約320m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		夏季	H25.7.30	213m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
予定	秋季	H25.9.16	320m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—	
	春季	H26.3~5	自然出水再現放流	—	—	—	水際のほぐし	
運用	融雪期	自然出水再現放流					本格運用へ移行	

平成
25
年度

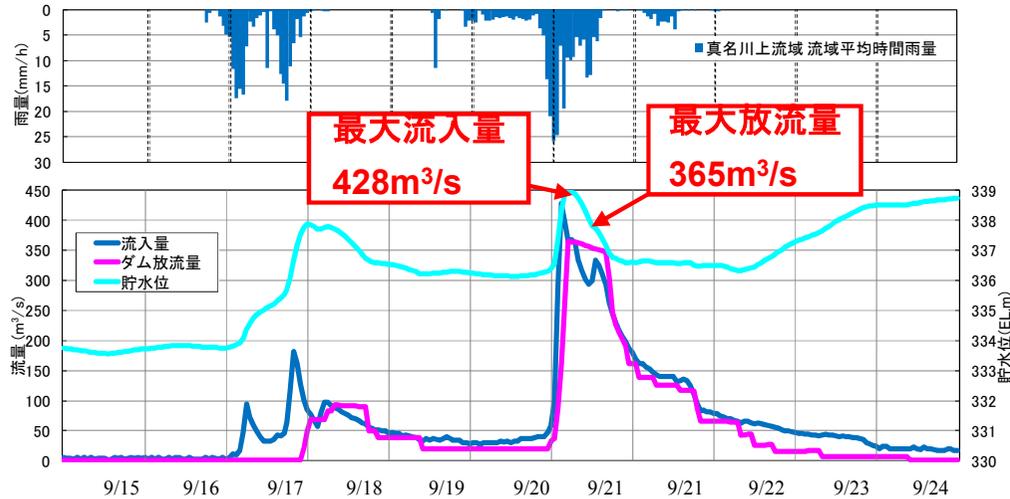
平成
26
年度

平成25年度の実施結果

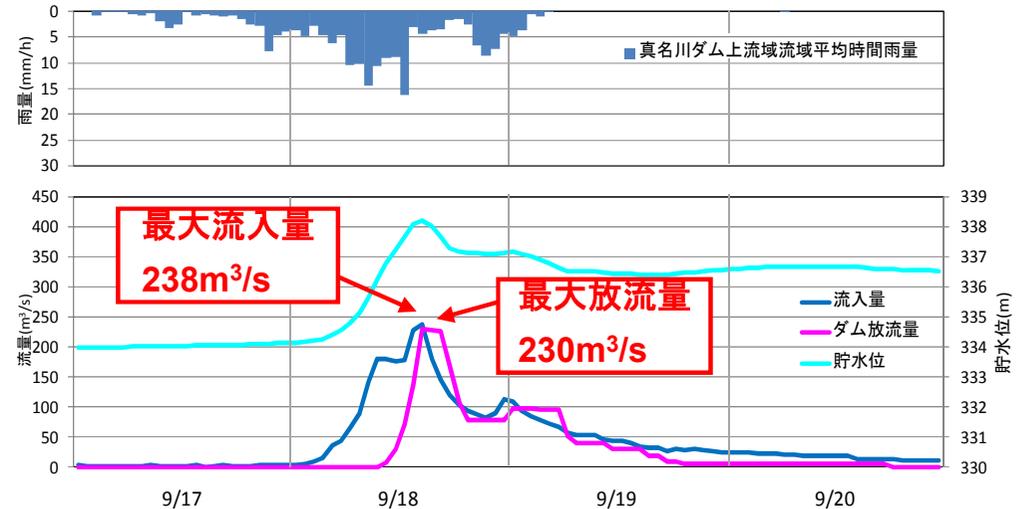
【近年の自然出水の状況】

- 平成23年に既往第2位、平成25年に既往第4位の放流量(いずれも台風による)を記録した。
- 平成25年は、7月にも梅雨前線による213m³/sの放流量を記録した。

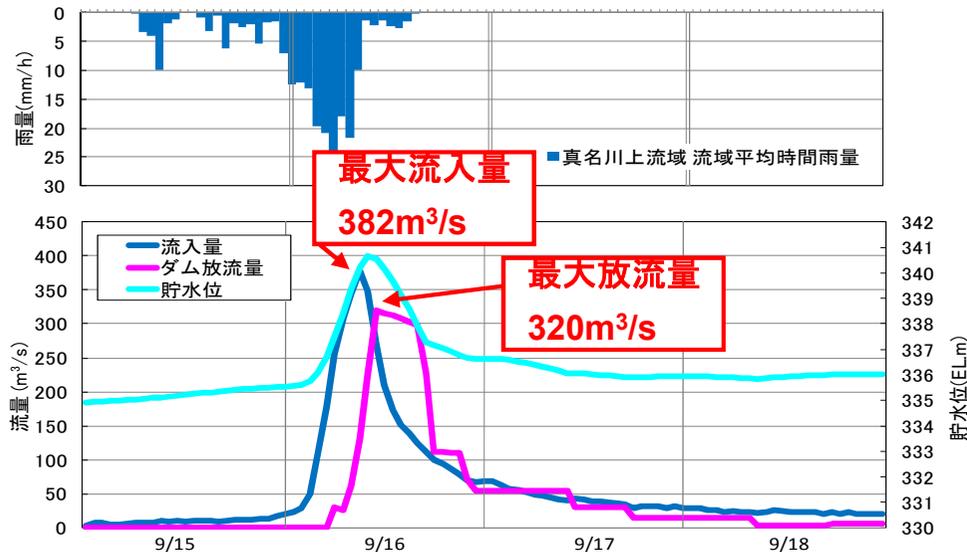
■平成23年 台風15号による出水



■平成24年 前線による出水



■平成25年 台風18号による出水



■歴代ダム放流量のピーク流量順位 (真名川ダム完成以降)

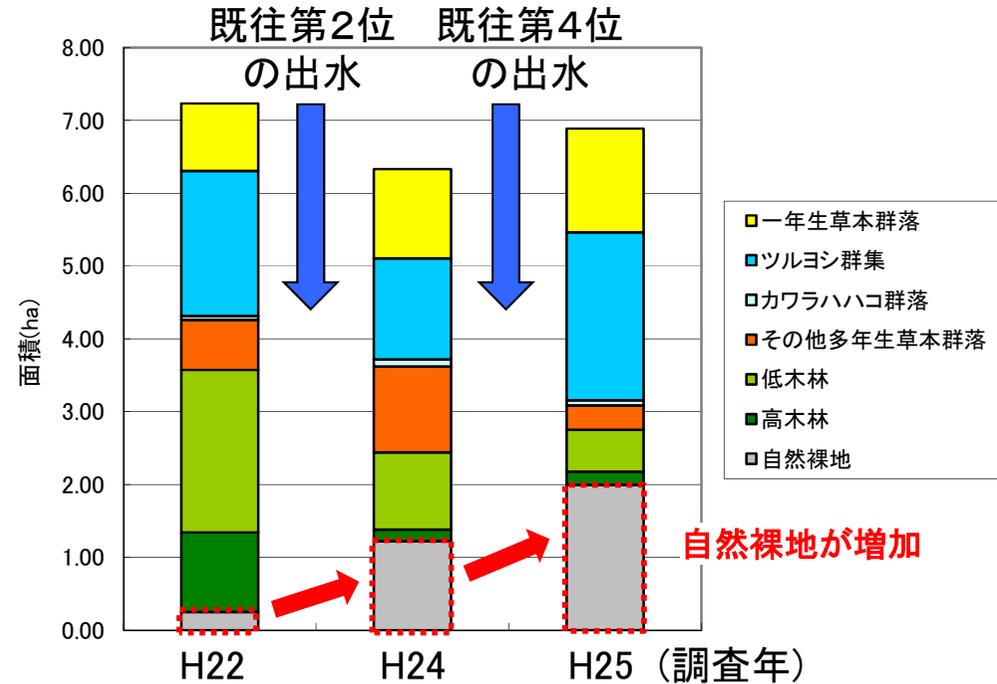
順位	発生年月日	ダム放流量 (m ³ /s)	流入量 (m ³ /s)	備考
1	H1.9.7	479	404 (536 [※])	秋雨前線
2	H23.9.21	365	428	台風15号
3	H10.9.22	344	469	台風7号
4	H25.9.16	320	382	台風18号

平成25年度の実施結果

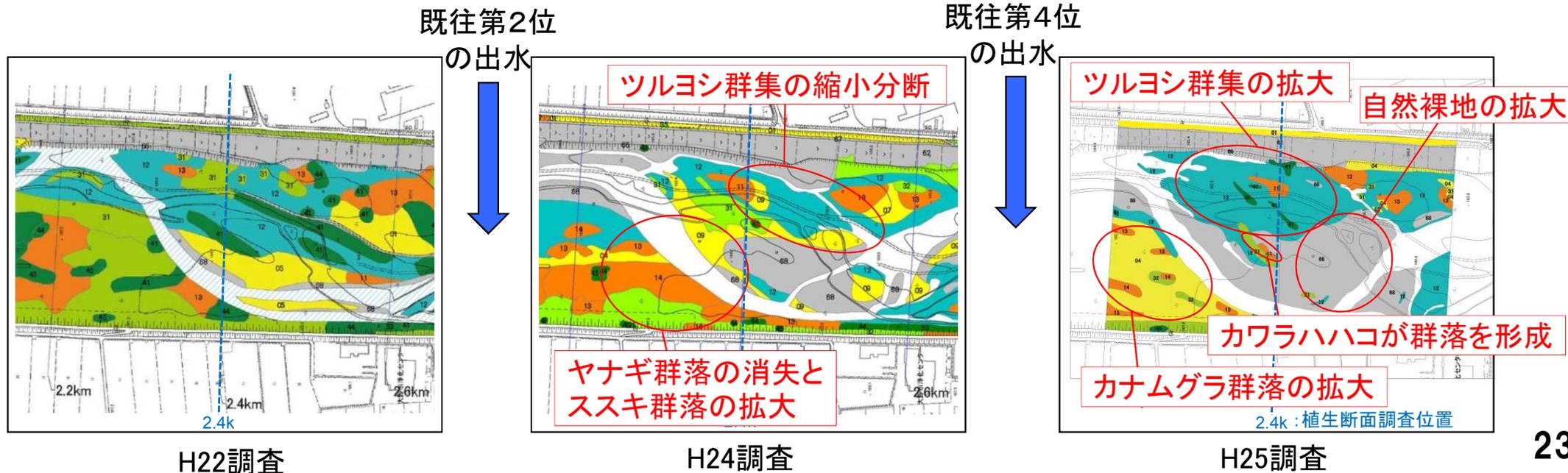
【植生の変化：2.4k付近の砂州】

- 平成25年出水によって植生が流出し、平成24年と比べて陸域植生面積が減少、自然裸地面積が増加した。
- 平成24年に一年生草本群落であった箇所では遷移が進み、平成25年はツルヨシ群集が拡大した。
- 平成24年度にカワラハハコが侵入した立地で平成25年には群落形成された。
- 今後、出水がなく乾燥化が進めば、自然裸地の草地化・樹林化が進むとともに、カワラハハコ群落も消失し、平成22年の植生に近い状態になると推測される。

■ 植生の区分別面積(2.4k砂州)



■ 植生の分布状況の変化(2.4k砂州)

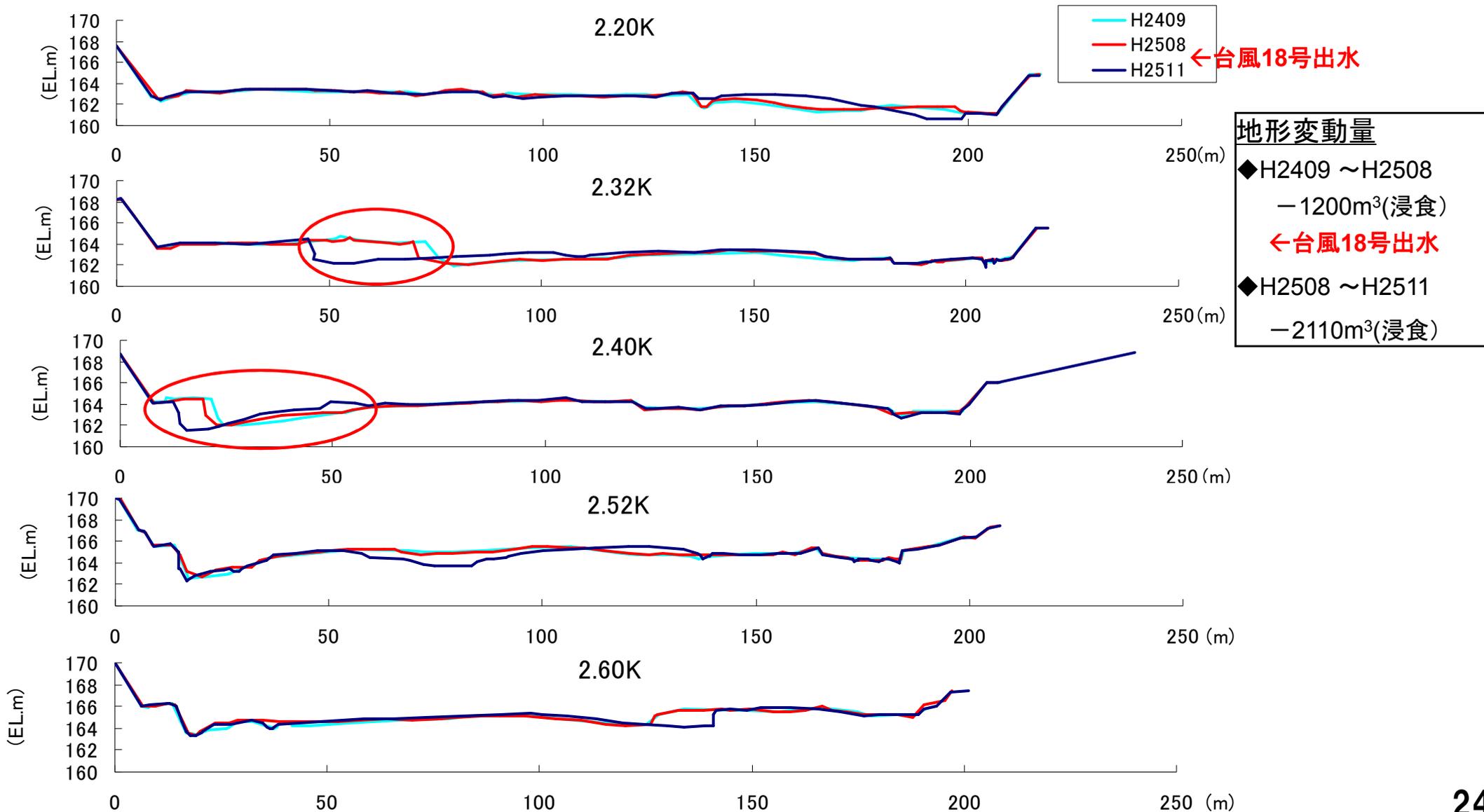


平成25年度の実施結果

【河道形状の変化】

・ 2.4k 付近の河道形状を平成25年の出水前後で比較すると、左岸側の側岸浸食が顕著である。

■ 2.4k付近の河道形状の変化(H24.9～H25.11)

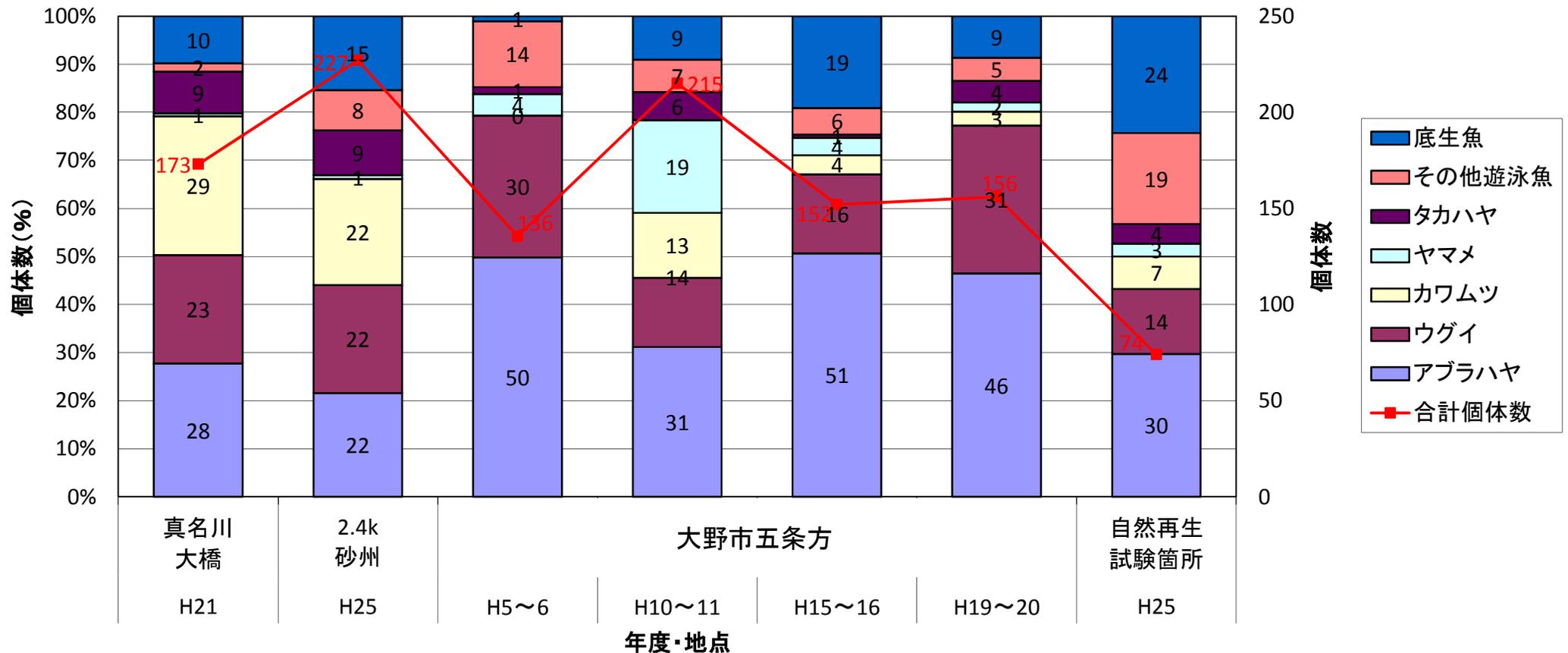


平成25年度の実施結果

【魚類調査】

- 平成23年の大出水（放流量365m³/s：既往第2位）前後の個体数構成を比較すると、全ての地点と年度でアブラハヤ、ウグイ、カワムツが多く、これら3種の構成比が約50～80%を占め、出水前後で優占種に顕著な差異はない。
- 優占種3種の構成比の違いは調査地点による違いと推測され、カワムツは下流で、アブラハヤは上流で優占している。

■ 魚類確認個体数の経年比較（平成5年度～平成25年度）



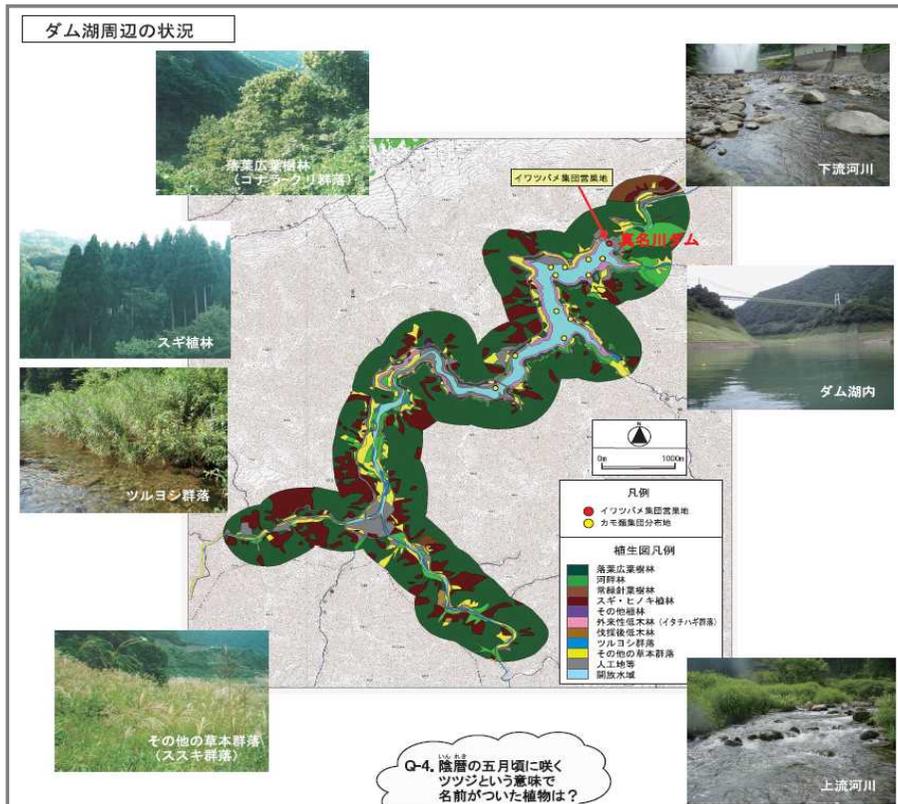
10.ダム湖の自然環境保全の取り組み



真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

- 【概要】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分かりやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所で配布している。
- 【概観】 サイズ:縦10cm×横20cm／屏風折 全12ページで構成
- 【配布状況】 ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布

【掲載例】



■真名川ダム環境マップのマップ面



■九頭竜ダム環境マップの底生動物、魚類のページ例

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【カワウ対策】

カワウの繁殖により、九頭竜ダム湖でも営巣地では樹木の枯死が発生している。また、九頭竜ダム湖の魚類ばかりでなく、福井県奥越地方や岐阜県飛騨地方などでも、アユ、ウグイ、フナ等の漁業被害が広がっていると言われている。

カワウによるアユ等の放流魚の食害に苦しむ奥越漁業組合の要請と「大野市鳥獣被害防止計画」に基づき、平成24年6月に福井県猟友会和泉支部が、九頭竜ダム湖畔の大規模コロニーのカワウに対し「個体調整」を実施し、2回で合計172羽の個体調整を実施した。なお、卵と雛は調整の対象外とした。その結果、平成25年度は小規模コロニーへと変わり、個体数も減少した。

平成25年度も6月に「個体調整」を実施し、2回で合計60羽の個体調整を実施した。

【カワウの個体数調整の実施状況(平成25年度)】

実施日	個体調整数	備考
6月11日	50羽	九頭竜ダム湖(越戸谷等)
6月12日	10羽	鷺ダム
合計	60羽	



■カワウの大群での飛翔状況



■カワウ営巣地



■カワウの糞の影響による樹木の枯死が発生

11.流木の有効活用

概要

【流木対策】 ゲート操作などの支障とならないようにダム湖に流れ込んできた流木を回収

【有効利用】 一般の方への流木や流木から作ったチップや堆肥・おが粉の配布

(九頭竜新緑・紅葉まつり、森と湖に親しむ旬間行事など)

流木工作教室などの開催、流木の艺术的利用の紹介

おが粉の活用:ねかせたおが粉を「水源地の森づくり」植樹会で堆肥として使用

チップの活用:防草用のマルチング材等として使用を予定



■流木の配布 (九頭竜新緑まつり、九頭竜紅葉まつり、真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)



■堆肥・おが粉の配布 (真名川ダム見学会)



■流木チェーンソーアート (九頭竜新緑まつり)



■流木アート (九頭竜紅葉まつり)



■流木工作教室 (真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)



■流木処理 チップ化

12.ダム湖周辺の紅葉情報提供

概要

真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年に引き続いて実施。

【期間】平成25年10月17日(木)～11月27日(水)

【URL】九頭竜川ダム統合管理事務所

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>

真名川ダム(麻那姫湖)周辺



真名川ダム周辺の紅葉情報(2013年度版)をお届けいたします。

平成25年11月25日現在

真名川ダム周辺ではほとんどの木々が落葉しており、紅葉の時期は終わったと思われます。現在、真名川ダム周辺及び上流部で様々な工事が行われており、国道157号を工事車両が多く通行していますので、お立ち寄りの際は安全には十分、ご注意ください。

調査地点	調査日						
	10月17日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日
真名川ダム周辺	青葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉
麻那姫湖中流部(若生子大橋)	青葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉
麻那姫湖上流部	青葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉
中島公園周辺	青葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉
雲川・笹生川	青葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉

色の説明
青葉
一部紅葉
見頃
一部落葉
全落葉



■真名川ダム周辺(下流部)



■雲川(国管理区間上流端)



■真名川ダム周辺の調査地点の位置図

九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺



■九頭竜ダム周辺の調査地点の位置図

調査地点	調査日						
	10月17日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日
九頭竜ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
九頭竜湖左岸	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
箱ヶ瀬橋付近	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
九頭竜湖上流部	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉

色	色の説明
青	青葉
橙	一部紅葉
赤	見頃
黄	一部落葉
灰	全落葉

今週のおすすめ

今シーズンからお届けしていました「おすすめ紅葉写真」、いかがでしたでしょうか。今週はもうおすすめできる紅葉はなくなってしまいましたが、最後に今シーズンのベストショットを掲載します。九頭竜川の水と九頭竜湖周辺紅葉の代表的な色である鮮やかな橙、そしてまぶしいほどの黄色が見事にマッチした一枚ということで選びました。それではまた来年もお目にかかりましょう！



■下半原(ダム左岸側からダム右岸側を撮影)



■ダムサイト(影路艇庫への市道より撮影)



■貯水池
(管理支所から貯水池(ダム上流)を撮影)



■箱ヶ瀬橋下流(箱ヶ瀬橋上から下流側を撮影)



■ダム全景
(ダム下流側国道沿い展望台より撮影)



■大谷付近(大谷橋からダム左岸側を撮影)

13.ダムカードの配布とダムマニアとの連携

ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

- 平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
- ダムや周辺施設のみで配布
- 全国统一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載 (サイズ:縦6.3cm×横8.8cm)
- 九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内



■ダムカード表面 (真名川ダム)



■ダムカード表面 (九頭竜ダム)

DAM-DATA

所在地: 福井県大野市下若生子
 河川名: 九頭竜川水系真名川
 形式: 不等厚アーチ式コンクリートダム
 ゲート: クレストゲート×4門
 コンジットゲート×2門
 小放流バルブ×1門
 堤高・堤頂長: 127.5m・357m
 総貯水容量: 1億1,500万m³
 管理者: 国土交通省
 本体着工/完成年: 1967/1977年
詳しいデータはこちら <http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/>

こだわり技術

真名川ダムの形状は、放物線フラットアーチタイプである。又、耐震上有利となるように、下流側への傾斜量を堤高の1.2%としており、当時としては高い施工技術力が必要であった。

■ダムカード裏面 (真名川ダム)

■真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況

(※:平成25年1月～平成25年12月末現在)

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
配布枚数	1,163枚※ 累計:7,187枚	4,089枚※ 累計:13,852枚

ダムマニアとの連携

【ダムマニアとは】

- ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
- インターネットやイベントを通じて交流
- 近年、メディアでも話題になっている

【ダムマニアとの連携】

- 「森と湖に親しむ旬間」行事のダム見学会(平成25年7月)で、「ダムマニア」の方により、ダムマニアから見た「総合治水」「色々な発電比較」「揚水発電とは」と題して、プレゼンテーションを開催
- ダムマニアの方々が作成したオリジナルの「ダムマニアカード」を展示(九頭竜ダム会場)

(真名川ダム会場)



■ダムマニアの方によるプレゼンテーション
(森と湖に親しむ旬間行事)



(真名川ダム会場
堤体内通路での
写真展示)



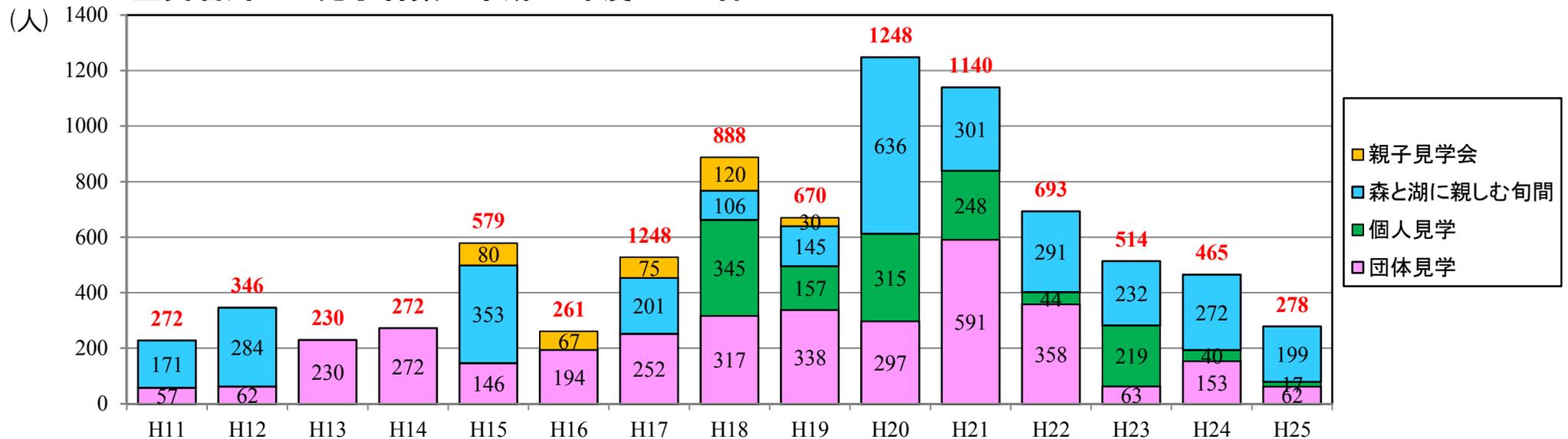
■ダムマニアの方々が作成したオリジナルの
「ダムマニアカード」
(森と湖に親しむ旬間行事 九頭竜ダム会場)

14.真名川ダム of ダム内部見学

概要

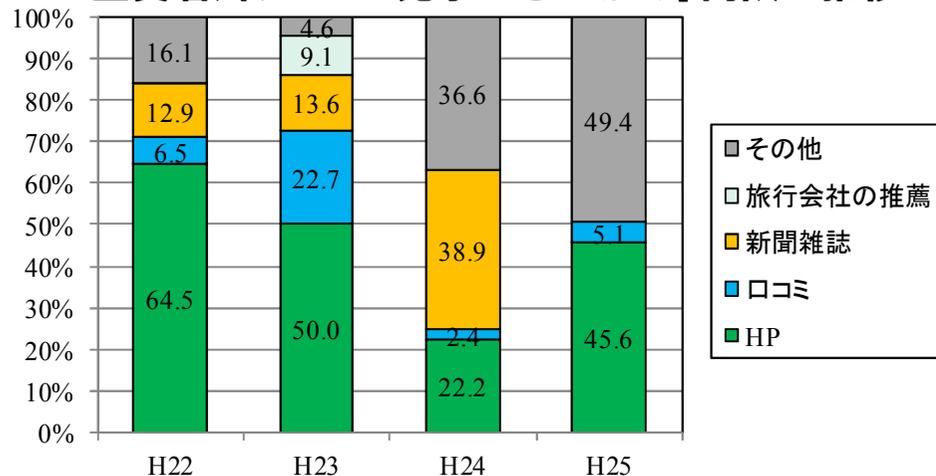
ダム管理支所職員による真名川ダムの堤体内および周辺の見学・案内を実施している。
見学申込の予約受付は、九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて随時行っている。

■真名川ダム見学者数 平成25年度 278名



注) 平成17年度以前の「団体」の人数は、「個人」+「団体」を示す

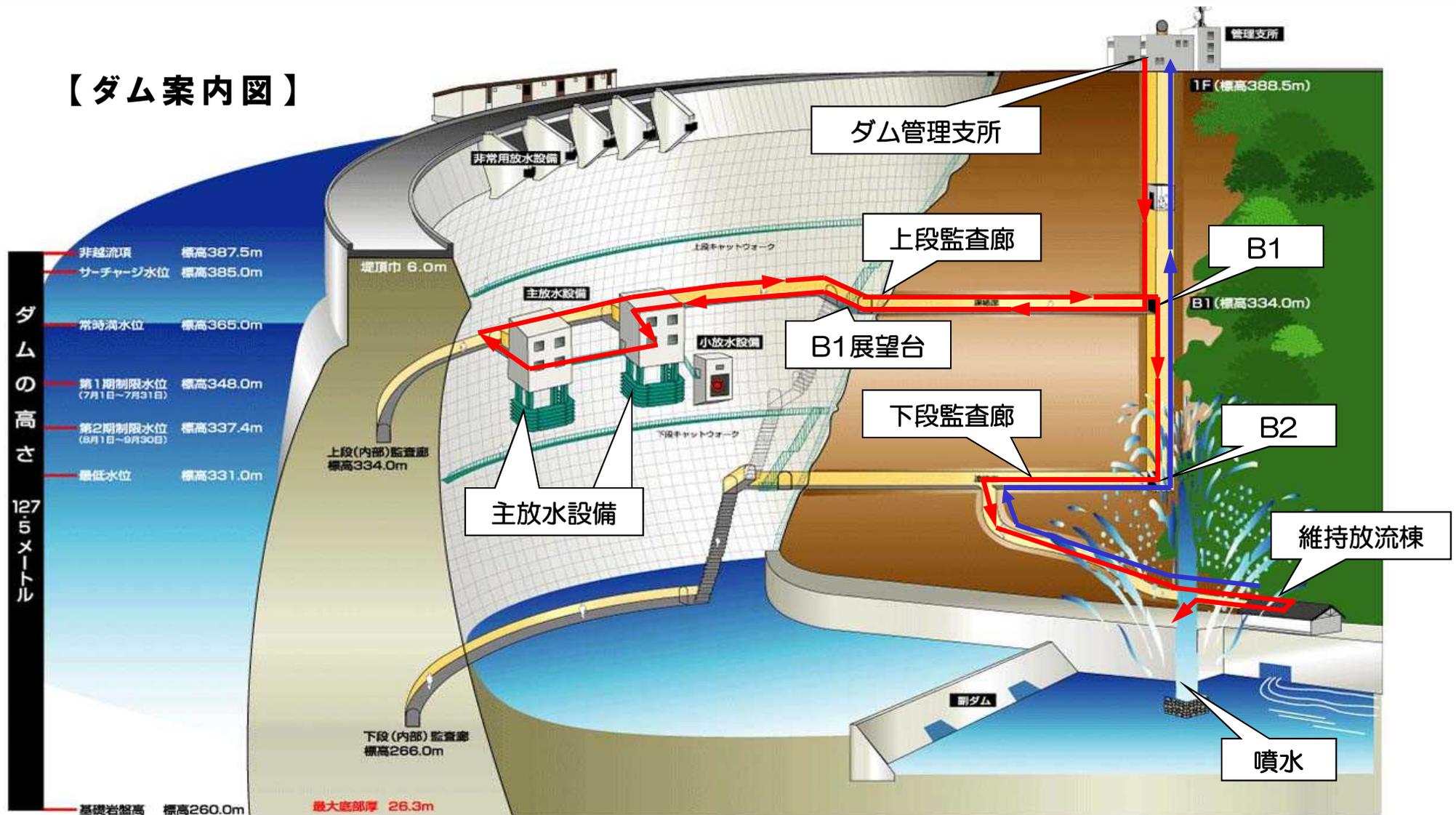
■真名川ダムの「見学のきっかけ」内訳の推移



- 「見学者数の推移」では見学者数は、平成20年度をピークに減少傾向にあり、特に団体の見学が減少している。
- 「見学のきっかけ」では、ホームページの割合が高い傾向が続いており、平成25年度もホームページによる割合が高い結果となっている。

真名川ダム見学コース

【ダム案内図】



コース	見学ルート	時間	見学場所
Aコース	ダム管理支所 → B1 → B2	60分	上段監査廊、主放水設備、維持放流棟、噴水前
Bコース	ダム管理支所 → B2	30分	維持放流棟、噴水前

15.ダムツーリズム(九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー)



※赤枠は平成25年度に新規実施

概要

九頭竜ダムは夏に地元前坂キャンプ場と共同で、大野市旧和泉村地区を巡る民間バスツアーのルートに組み込まれた。

ツアーは、計3回82名の見学者を迎え、ダムの雄大さを感じて帰られた。

今回、地域の観光資源の一つとしてダムの活用が図れたことは有意義であり、今後の水源地の活性化にも一役買える管理を実践してゆく。

■ツアー参加者数

(単位：人)

実施日	ダム見学時間	参加者数		
		大人	小人	計
8月 2日 (金)	14:00～15:00	13	10	23
8月 2日 (金)	14:00～15:00	22	13	35
8月 2日 (金)	14:00～15:00	11	13	24
合計参加者数		46	36	82

■ツアー行程

名古屋等中京地区：発→前坂キャンプ場【化石発掘体験】

→ **九頭竜ダム見学** →九頭竜自然楽校【カヌークルーズ】

→名古屋等中京地区：着

■ツアー広告



↑九頭竜自然楽校カヌークルーズ (下半原地区)

← 九頭竜ダム見学の様子

16.九頭竜ダム展示室

概要

平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っている。

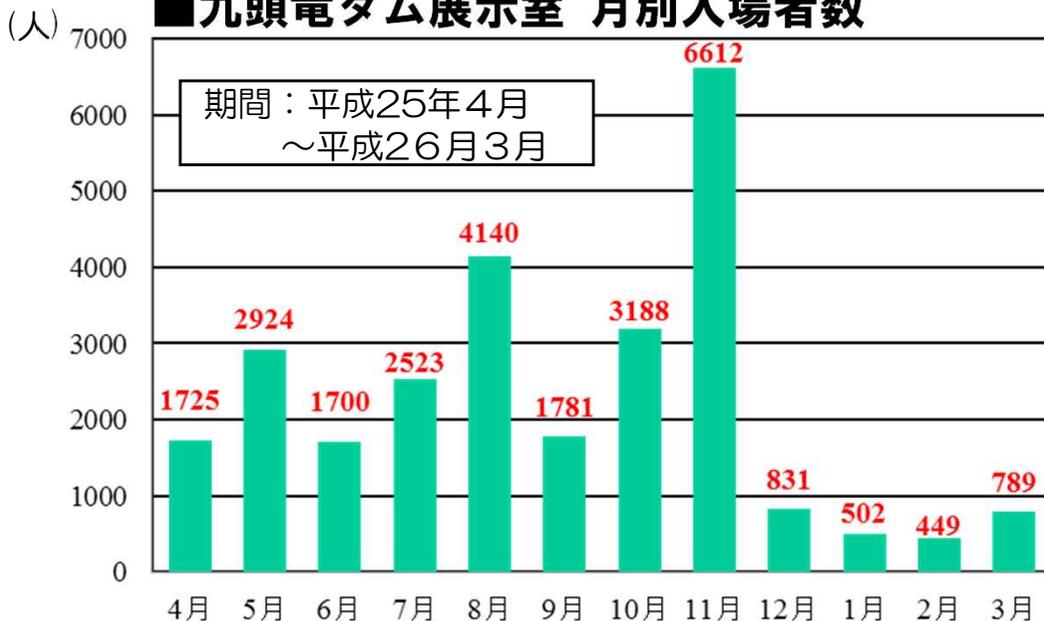
【場 所】 九頭竜ダム堤体右岸ダムサイトの九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】 9:30~16:30
(平日・休日を問わず開館)

【九頭竜ダム展示室 入場者数 (平成25年)】

- 集計期間:平成25年1月~平成26年3月(365日)
- 入場者数:延べ27,164人
- 月平均: 2,264人 ■ 日平均:約74人

■九頭竜ダム展示室 月別入場者数



■九頭竜ダム展示室 位置図



■ 年間の入場者数の推移をみると、12月~3月の冬季の入場者数は少なく、4月から11月までが主に利用される期間となっている。特にゴールデンウィークがある5月、夏休み中の7~8月、紅葉シーズンである10~11月に入場者数が多くなっている。

展示内容

- 九頭竜ダム：九頭竜ダム貯水池の航空写真と九頭竜湖についてのパネルを展示
- 地域情報：九頭竜ダムがある大野市を紹介するパネルを展示
- 災害情報：福井豪雨などでの被害状況の写真等を展示
- 九頭竜ダムでの発電：九頭竜ダムと九頭竜川水系で行われている発電について展示
- 日本全国のダム写真カード：ダムマニアの方々が作成し提供していただいた、日本全国のダムマニアカードを展示
- ビデオ上映：九頭竜ダムを建設した様子についてのビデオ(約25分)を上映
- 流木アート：九頭竜ダムに流れてきた流木を用いて作られた流木による様々なアートを展示



■展示室入り口



■九頭竜ダムコーナー



■地域情報コーナー



■災害情報コーナー



■発電についての展示



■ダム写真カードコーナー



■ビデオ上映



■流木アートコーナー

活動の目的

奥越地域の自然・産業資源を媒介して、次世代の地域を担う人材育成を目的としている。

四季を通して地域の人材・農林業・暮らしや文化を活かした参加体験型エコ・グリーンツーリズムを進めることで、訪れる方々を対象に地域の素晴らしさを体感していただいている。

継続事業～水辺編～

■ 水辺の活動(場所:九頭竜新緑まつり会場)

水辺の活動の楽しさを理解していただくためのカヌー体験を天候の安定している春や秋に実施。



- ・事前レクチャー
- ・パドルの使用方法
- ・正しいライフジャケットの装着
- ・河川でのコミュニケーション
- ・落水時の対処方法

■ 川の安全基礎講座(石川、福井にて各1回開催)

川での体験活動の進め方や、川の事故を防ぐべく川の構造、水流や水圧、レスキュー方法等について基本的な安全講座をテーマに開催。



- ・川の体験活動技術を理解する
- ・川の基本的な構造と安全管理について
- ・レスキュー方法
- ・カヌー体験

■ 親子体験(幼児～小学生やスポ少団体:下打波)

「福井人なら一度は川遊びをしよう!」をコンセプトに真夏の日の水の冷たさや心地よさを親子で体験。



- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・ライフジャケットを装着しての川流れ
- ・溪流下りや登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

■ 地域連携(雇用推進協議会/大野市)

お米づくりとともに、地域の自然や人との関わり・体験をテーマに「アグリマイスター」事業に関わる。また、市内の子どもたちを対象に、木瓜川環境調査を「イトヨの里」大野市市民生活課」とともに実施。



- ・田植え～稲刈り～販売の体験
- ・赤トンボのマーキング調査
- ・野菜定植と収穫
- ・地場産食材での料理体験
- ・地域内での自然体験活動
- ・親子でのコミュニケーション
- ・木瓜川水生生物調査

その他の継続事業

■ 学校や児童クラブにおける河川活動の支援

児童期には川遊びを推進しよう！を合言葉に、川の体験から多様な価値観や故郷を心身に残すべく個人や団体を支援している。



- ・古民家での暮らし体験
- ・清流での川遊び
- ・森と川の生き物探し
- ・サンショウウオの生息環境の分析
- ・川床をつたってのアジメドジョウ探し
- ・JRを利用したの川遊びツアー

■ 大人の休日シリーズ(下打波、六呂師)

豊かな自然との関わりが薄い若者世代を対象に、森/川/海/盆地等季節のフィールドを利用して自然とのコミュニケーションを図るOne Dayツアー。毎回好評で20名前後が参加。



- ・沢登りや飛び込み等の川遊び
- ・川や海でのシュノーケリング
- ・自転車を利用して地域資源を訪ねるポタリングツアー
- ・古民家暮らしの体験
- ・スノーシュートレッキングやナイトスノーシュー

その他の活動

■ ハuckleベリーの森

自分たちの暮らす地域において「生命のつながり」をテーマに四季を通しての体験活動を支援している。「故郷(くに)」を心と身体で体験し刻むことができることを願っている。



エコツアー

- ・外来種 (オオバコ) 除去→ツリークライミング
- ※ 荒天により外来種除去のみ実施



- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・四季を通しての森林環境教育
- ・森の野生動物と人の暮らしのつながり探し
- ・林床整備等の簡易な森林整備体験
- ・ピザやバームクーヘン等の野外料理体験
- ・樹登りやツル登り
- ・幼稚園／保育園の自然体験活動の支援
- ・野生動物のための生息地づくり

来年度に向けて

- ・和泉地区での定期的なカヌー教室を実施したい。
- ・地域外の人への地域資源 (川・森等) への理解を深めるショートネイチャーツアーの実施。
- ・地域NPO等との連携(和泉地区)を図りたい。

18.カヌーを使った水辺の安全教室

概要

B & G財団のカヌーなどの無償貸与制度を活用して、市内の小学4～6年生を対象にプールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室を行う。

【実施日】 平成25年6月23日(日)、30日(日)、
7月7日(日)、14日(日)～15日(月)、
27日(土)、8月4日(日)

【会場】 九頭竜湖(下半原)・B & G海洋センタープール

【主催】 大野市教育委員会

【内容】 着衣泳、カヤック・カナディアンカヌーの操艇、
ハンカチの藍染め体験、化石採取体験など

【参加者】 延べ67人

【指導】 福井県カヌー協会



■着衣泳



■プールでの操艇



■ダム湖での操艇



■化石採取体験



■カナディアンカヌー操艇



■カヌーポロ体験

平成26年度の活動について

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンについて

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンでは、『森林』、『水』、『交流』の3つの柱のもとに、水源地域活性化のための様々な活動が実施されている。

〔基本理念:真名川ダム〕

「奥越の山々に抱かれた名水のまち
大野の水のランドデザインを目指して」

〔基本理念:九頭竜ダム〕

「美しい水・森・心と出会ういやしの里づくり」

〔ビジョンの施策〕

<森林>

- 森林の保全・育成
- 森林資源の活用

- ◆水源林の保全
- ◆林業ボランティア
- ◆雑木林（里山）の活用
- ◆木工・ログハウス工房づくり
- ◆自然体験の拠点づくり

※紺色字は平成25年度の活動

<水>

- 健全な水環境整備
- 水環境の啓発
- 利水運用の工夫

- ◆水路網や清水の復元
- ◆水を生かした公園づくり
- ◆地下水位のモニタリング
- ◆水文化や愛護活動
- ◆親和性の高い水生生物の保全
- ◆家庭排水対策
- ◆農業用水管理との連携
- ◆河川の維持流量等の確保の研究
- ◆地下水位保全を図る貯水池運用の研究

<交流>

- 人材・組織の育成
- 水辺環境の活用
- 広域交流の促進

- ◆市民参加活動の拡充
- ◆将来を担う人づくり
- ◆水源地域のファンづくり
- ◆カヌー体験ゾーン形成
- ◆フィッシングゾーン形成
- ◆親水エリアのネットワーク
- ◆湖畔めぐりルートづくり
- ◆中島公園等の充実
- ◆水辺の利用のルールづくり
- ◆ブランドイメージづくり
- ◆地域間交流の促進
- ◆情報ネットワークづくり

活動における課題(ビジョンのさらなる推進に向けて)

これまでの活動を踏まえた今後の取り組みの方向性

- 【広報】 ■ 水源地域の担っている社会的な役割や重要性の理解、防災意識向上のため、過去の災害情報を含めた広報の実施
- ホームページ等による水源地域情報の発信

- 【連携】 ■ 上下流交流による住民間の「つながり・きづな」意識の醸成
- 子供たちを対象とした次世代教育等による連携の強化、ネットワークの形成
- 地域住民や民間団体、関係機関との連携強化による活動の活性化

ビジョンの推進に向けて

【広報】

- 水源地域の役割に関する情報発信 ⇒ 水源地域の役割や重要性に関する情報の発信
⇒ 奥越豪雨・福井豪雨災害の紹介等防災意識の啓発
- 広報手段の改善 ⇒ ホームページ(構成委員)の充実と改善、関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実、パネル展等の開催

【連携】

- 上下流交流の促進 ⇒ 子供たちを対象とした体験型イベントにより水源地域に関心を持ってもらい、将来の水源地域サポーター、リピーターを育成
- 水源地域、周辺地域との連携 ⇒ 地域住民・NPOとの協力体制の強化、連携の促進

平成26年度の取り組み(案)

- ◆ 平成16(2005)年の福井豪雨災害から10年、真名川流域で多大な被害を被り真名川ダム建設の契機となった昭和40(1965)年の奥越豪雨から来年で50年の節目に来年度(平成26(2015)年)はあたる。
- ◆ 災害の記憶を風化させず、また『人命を守る』ため、住民の防災意識の啓発、自助・共助について考える。

パネル展

- ▼ 九頭竜ダム、真名川ダム等、水源地域の自然、防災や水利用の働きや、水源地域ビジョンの取り組みを紹介するパネル展示を行う。
- ▼ 治水や利水の役割、水源地域の自然と魅力について紹介し、下流域住民に関心を持ってもらう。また水源地域の保全の必要性を理解してもらう。

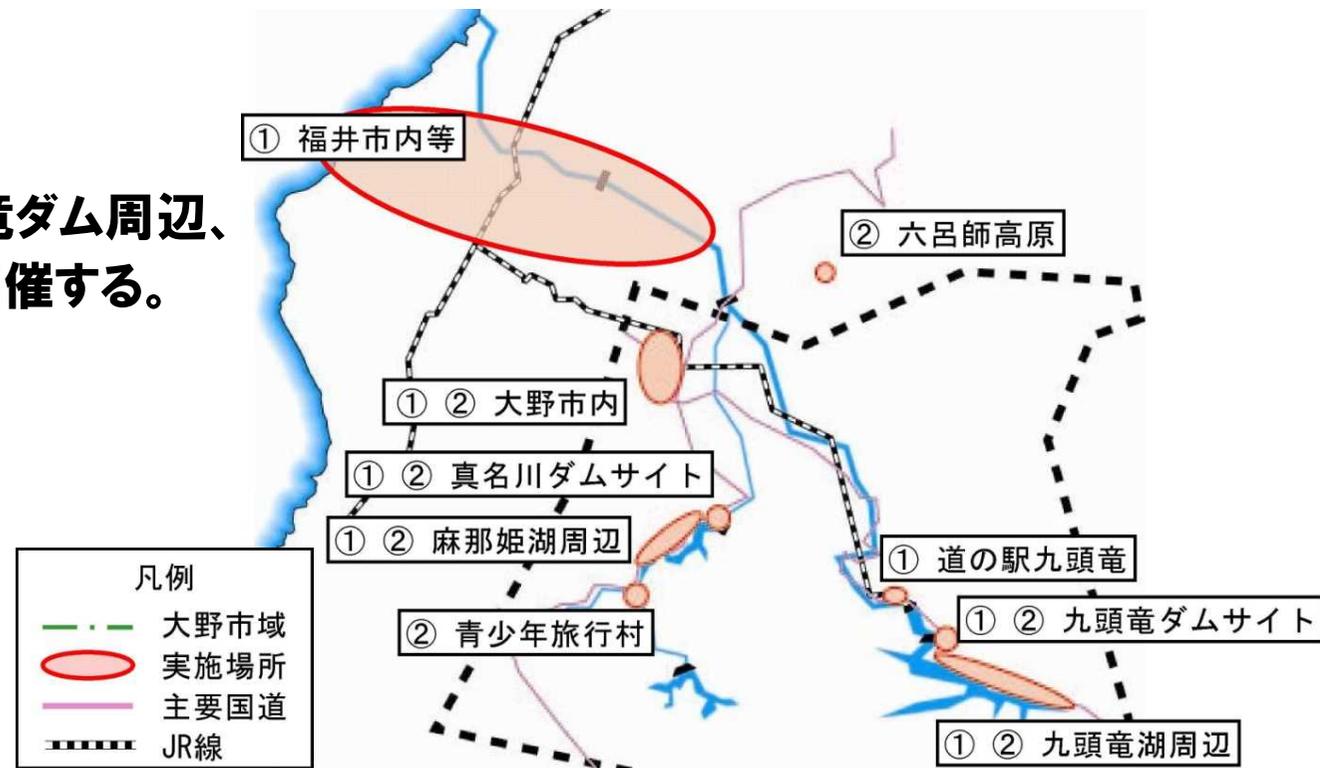
日帰り里山留学

- ▼ 下流域の子供たちが水源地域(大野市域)へ短期留学し、山林、里山、田園地域の自然を体験する。
- ▼ 次世代を担う子供たちが水源地域に関心や愛着心を持ち、今後の良きサポーター、リーダーに育つようにする。
- ▼ 子どもと一緒に来訪する保護者(大人)にも、水源地域を知ってもらう。

実施場所(案)

- ①. パネル展
- ②. 日帰り里山留学

大野市内、真名川ダム・九頭竜ダム周辺、
近傍の施設、下流の市町で開催する。



■ パネル展、日帰り里山留学の開催場所(案)

実施スケジュール(案)

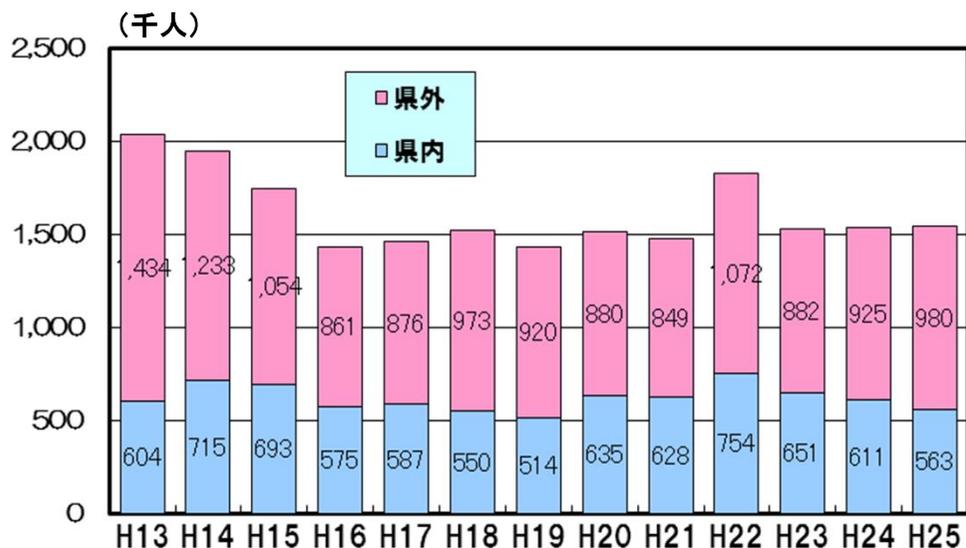
パネル展・日帰り里山留学は、平成26年度から実施していく。

平成26年度は、水源地域ビジョンに位置付けている各種取り組みの継続を図るとともに、構成委員間の連携の促進や、大野市が進める“越前おおのブランド戦略”によるイメージアップや中心市街地活性化プログラムによる地域間交流の促進、災害の記憶を風化させず『人命を守る』ための住民の防災意識の啓発・自助・共助について考えるなど、新たな活動の導入により、ビジョンの更なる推進を図っていく。

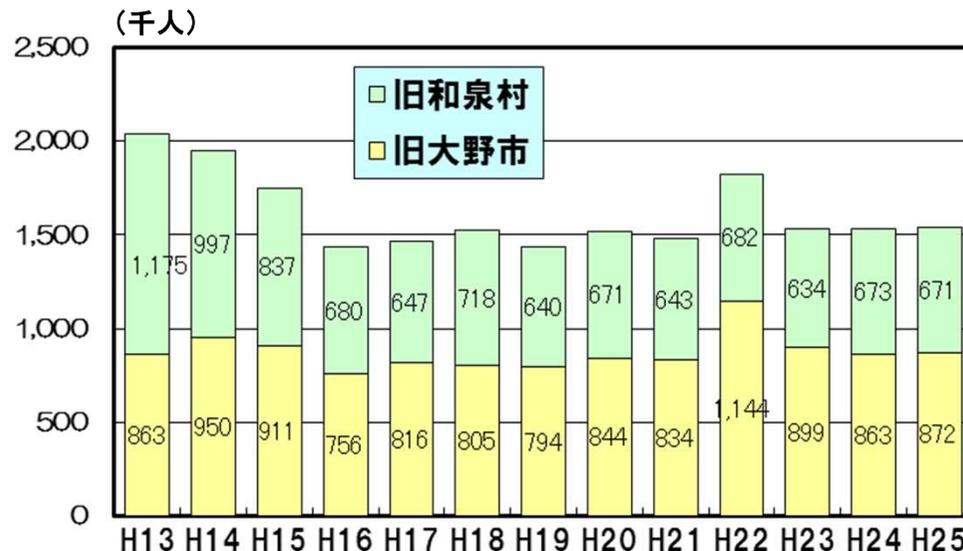
- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 森と湖に親しむ旬間行事 | 11. 流木の有効活用 |
| 2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり | 12. ダム湖周辺の紅葉情報提供 |
| 3. もりみずカップ少年サッカー大会 | 13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携 |
| 4. 『水源地の森づくり』植樹会 | 14. 真名川ダムのダム内部見学 |
| 5. 越前おおのエコフィールド | 15. 九頭竜ダム展示室 |
| 6. 越前おおの湧水文化再生計画 | 16. ノーム自然環境教育事務所 |
| 7. NPO法人九頭竜自然楽校 | 17. カヌーを使った水辺の安全教室 |
| 8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ | 18. パネル展 |
| 9. 真名川ダム弾力的運用管理 | 19. 日帰り里山留学 |
| 10. ダム湖の自然環境保全の取り組み | 20. ダムツーリズム(夏休みダム見学ツアー) |

【参考資料】大野市の観光動向

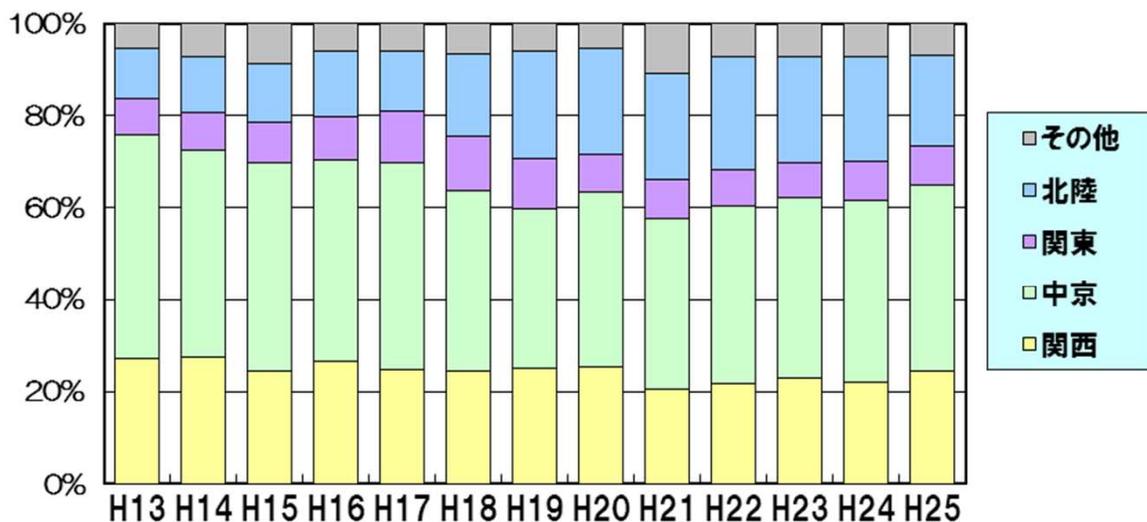
観光客数内訳（県内・県外）



観光客数内訳（旧大野市・旧和泉村）



県外観光客発地別内訳



■ 大野市における観光客数は、平成13年以降減少を続け、平成16年ころからは横ばいとなっている。平成22年は越前大野城築城430年祭の実施効果により平成15年並に回復しているが、平成23年は震災などの影響により減少し、以降横ばいとなっている。平成25年度は154万3千人となった。

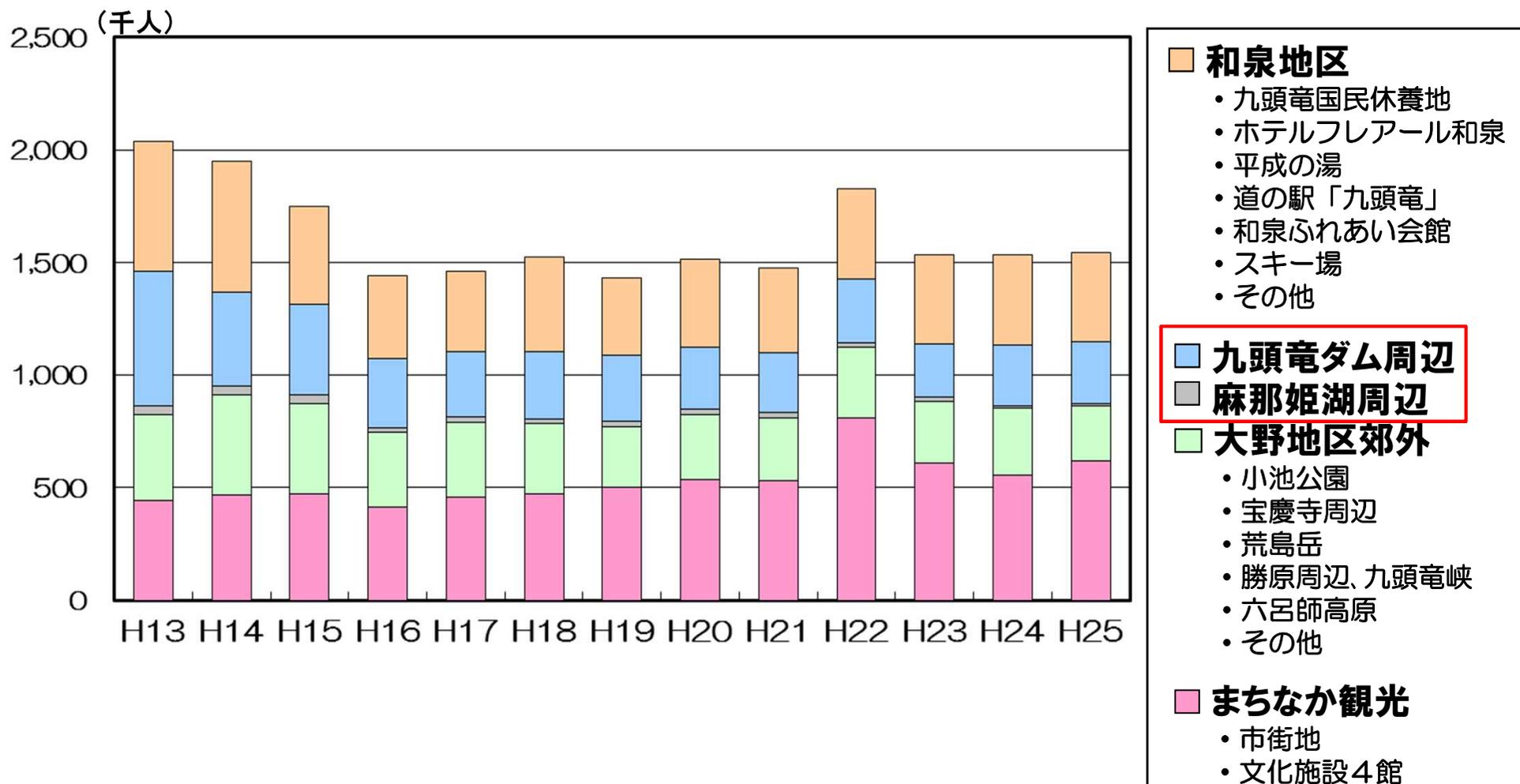
■ 全体の6割強が県外からの観光客であり、県外客のうち中京方面からが約4割、関西方面と北陸方面からがそれぞれ約2割となっている。

※データ出典：大野市観光振興課
 ※H25については暫定値

【参考資料】大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光地の観光客数

■ 大野市の主要観光地の観光客数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は18%程度、「麻那姫湖周辺」の占める割合は1%程度である。



※データ出典：大野市観光振興課
 ※H25については暫定値